

# ◆ 財政公表

今回の財政公表は、「市町村財政比較分析表（平成19年度）」です。類似団体（※）と比較した矢吹町の財政状況をグラフで示し、財政の健全度や適性を表しています。

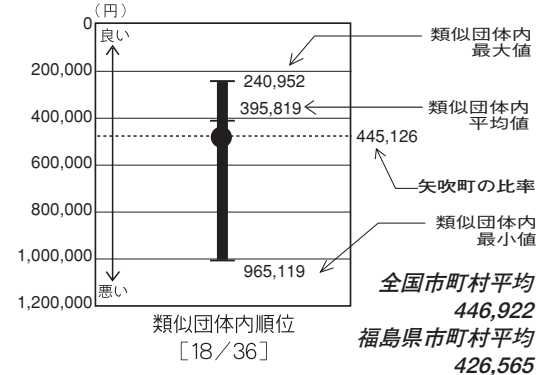
企画経営課財政再建対策室 ☎42-2112

## （平成19年度普通会計決算）

人口	18,276人（H20.3.31現在）
面積	60.37km <sup>2</sup>
歳入総額	5,672,196千円
歳出総額	5,524,206千円
実質収支	147,990千円

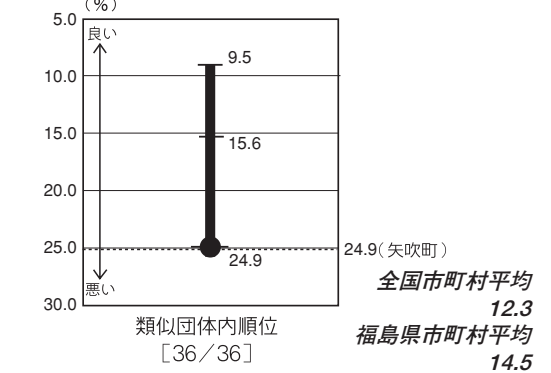
### 将来負担の健全度

町民1人当たり地方債現在高 [445,126円]



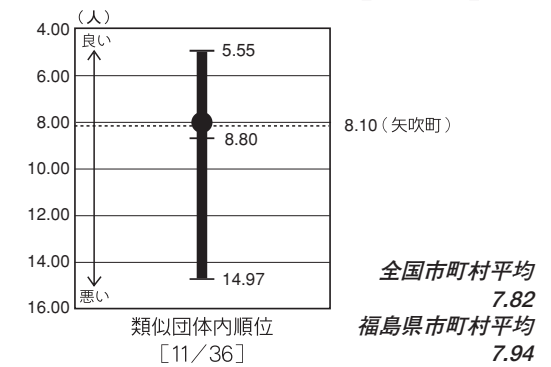
### 公債費負担の健全度

実質公債費比率 [24.9%]



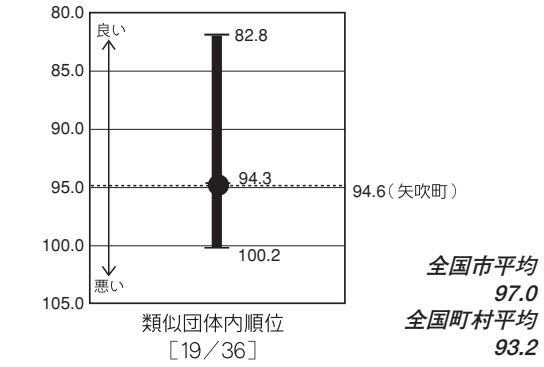
### 定員管理の適正度

町民1,000人当たり職員数 [8.10人]



### 給与水準の適正度（国との比較）

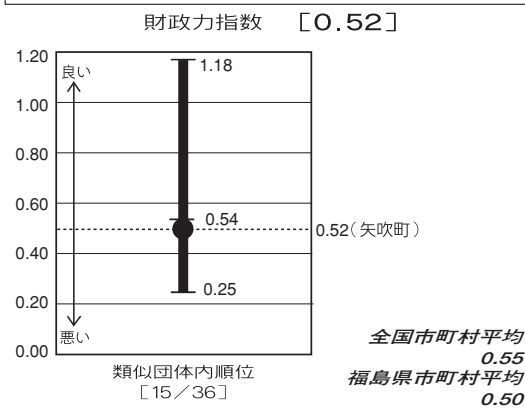
ラスパイレス指数 [94.6]



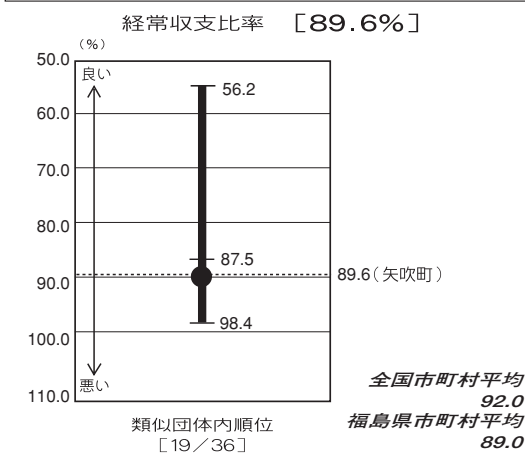
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
 ※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

## 市町村財政比較分析表

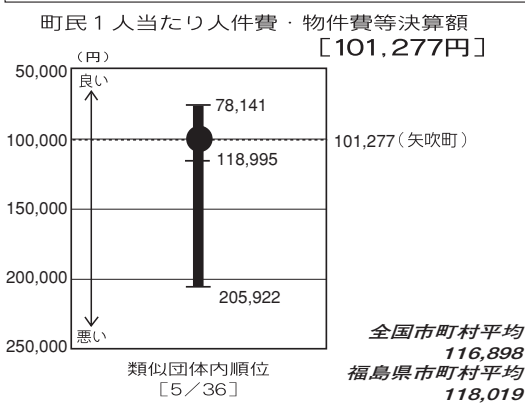
### 財政力



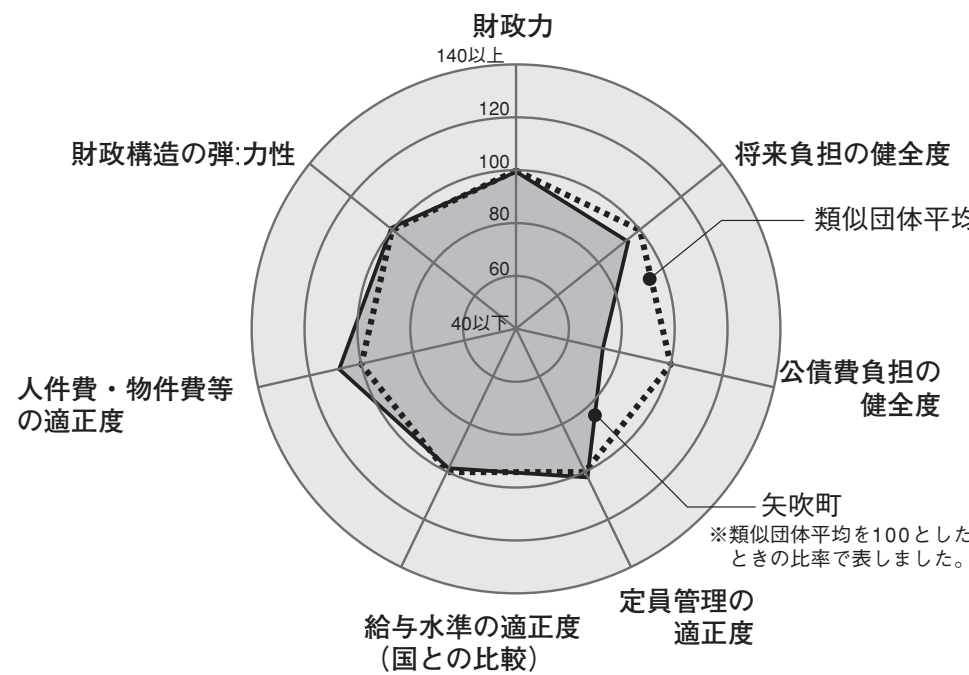
### 財政構造の弾力性



### 人件費・物件費等の適正度



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



### 財政力指数

財政基盤の強弱を示す指数で、比率が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いことになります。当町では投資的経費の抑制などにより、0.52と、県平均を上回る数値を示しています。

### 経常収支比率

財政の弾力性を見るための指標です。収入に対する経常的な支出（人件費、借入金返済費など）の割合が低いほど、財政的に柔軟に対応できることを示します。現在、全国市町村平均より良い位置にあります。人件費の削減や借入金の一括返済など、より改善を進めます。

### 実質公債費比率

税金や地方交付税などの収入に、借入金返済費が占める割合です。全国市町村平均値及び県市町村平均値を大幅に上回っています。計画的な事業の推進、借入金の一括返済などにより、平成27年度決算時までに18%を下回るよう努めます。

### 町民1人あたり借入金現在高

借入金の残高は平成15年度をピークに下降に転じています。今後、矢吹中学校建設事業による借入が見込まれますが、現在高の上昇は一時的で、大幅な上昇はないものと予想されます。

### ラスパイレス指数

国家公務員の給与水準を100とした場合の町職員の給与水準を示す指数です。類似団体の平均をやや上回る94.6となっています。今後は各種手当などの見直しなどを行い、指数を類似団体平均水準まで低下させます。

### 町民1,000人当たり職員数

定員適正化計画に基づき、退職者の補充抑制や民間委託などの推進を行ったことにより、類似団体平均を下回っています。平成20、21年度の2年間で20人の削減を行いました。

### 町民1人当たり人件費・物件費等決算額

人件費の削減、経常経費の抑制対策により、類似団体平均を下回る結果となりました。今後も、「財政再建3カ年計画」に基づき、安定した財政基盤づくりを進めます。